

ASEAN地域における廃水処理システム用省エネルギー水中曝気攪拌装置の開発

事業実施団体：阪神動力機械株式会社

リノベーション・実証の概要

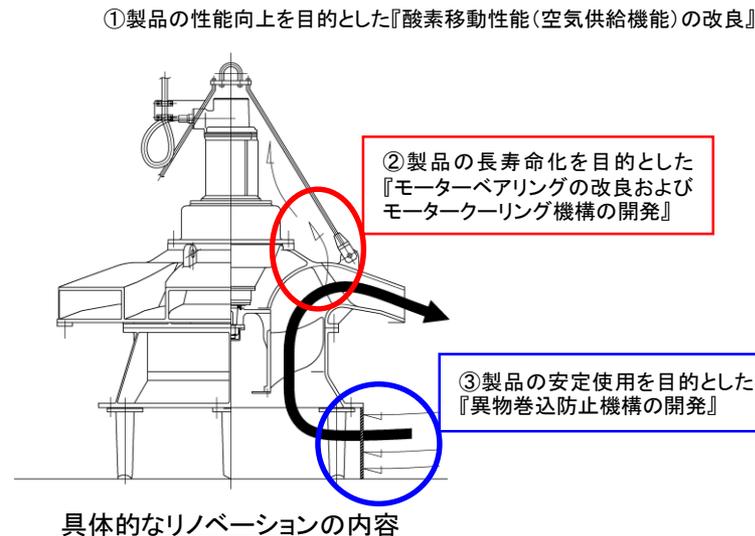
ASEAN諸国では、有機性廃水等の処理施設の増加に伴い、生物浄化処理に必要な曝気攪拌設備のエネルギー消費量も増加している。

そこで、省エアでも浄化能力の高い、水中機械式曝気攪拌装置「アクアレータ」を現地に適合するよう改良することにより、省エネ・CO2削減と同時に処理能力の大幅改善を図る。

さらに、開発した技術を活用し、タイをはじめとするASEAN地域に普及させる。



アクアレータ



対象とする国・地域の概要

上水道普及率が81.9%であるのに対して、下水道普及率は9.6%と低い。また、一般的な散気装置は大量の空気が必要である一方、曝気攪拌能力が低く、浄化性能に課題があった。



地図データ©2017 Google

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み(普及対象業種と時期)

STEP1: ゴム産業等: 約2,300社(平成29年度～)

STEP2: 澱粉・製紙産業等: 約900社(平成31年度～)

STEP3: 飲料・食品産業等: 約2,300社(平成33年度～)

STEP4: 公共下水分野(バンコク)等: 10数箇所(平成36年度～)

普及の見込み

約10～100台/年の販売台数(平成29～40年度)